

農福連携 技術支援者育成研修



受講料
無料

募集人数
20名程度

農福連携 技術支援者とは

農福連携技術支援者とは、農福連携に携わる当事者（農業者・就労系障害福祉サービス事業所の職業指導員・障害者本人等）に対し、農福連携を現場で実践する手法を具体的にアドバイスする 専門人材のことです。

修了試験を含む全ての研修過程を受講し、必要な知識と技能を身につけたと認められた方は、研修修了者となり「農福連携技術支援者（農林水産省認定）」として、現場における支援をすることができます。



受講対象者

次のすべての要件を満たす方

1. 農福連携に関わっている方、またはこれから関わろうとする方
(農業者、障害福祉事業所職員、JA職員、自治体職員 等)
2. 研修内容のすべてを受講できる方
3. 研修終了後に「石川県農福連携技術支援者リスト」に登録・公表が可能で、石川県内で農福連携を推進するために活動できる方

受講申込

申込はこちらから



申込期間

令和6年9月27日(金)から11月12日(火)

※応募者多数の場合は、石川県在住者を優先して受講者を決定します
※受講者決定の詳細等についてはお答えできませんので、ご了承ください

【受講申込に関する問合せ先】

石川県農林水産部農業経営戦略課

TEL:076-225-1660

E-mail:e210100@pref.ishikawa.lg.jp

農福連携技術支援者育成研修

時間割

配信期間 令和6年9月27日(金)～11月22日(金)

1. 座学研修 (e-ラーニング)

時間 ①～⑩ 1時間30分 ⑪のみ3時間

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| ① 農福連携概論 | ⑥ 農業と農村社会 |
| ② 社会福祉と障害者福祉 | ⑦ 農作業の一般的な特徴 |
| ③ 障害者雇用と障害福祉サービスの仕組み、関係機関の役割 | ⑧ 農業経営の仕組み |
| ④ 障害福祉サービス事業の運営の実務 | ⑨ 農作業の流れ |
| ⑤ 障害特性と職業的課題の基礎 | ⑩ 農業者による農福連携の経営実務 |
| | ⑪ 農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法 |

受講者には受講者専用サイト(Youtube)のURLを送りますので、期間中、ネットワーク環境がある場所にて各自で受講してください

2. 実地研修 + グループワーク (3日間)

日時	内容	場所	講師
11月23日(土) 9:30～17:30	開講式	石川県農林総合研究センター (金沢市才田町戊295-1)	兵庫県立大学 豊田 正博氏
	【障害特性に対応した農作業支援技法】 ・グループワーク ・振り返り		
11月24日(日) 9:00～17:15	【農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法】 ・実習①セルトレイへの播種 ・実習②除草作業 ・実習の振り返り	株式会社笠間農園 (内灘町湖西85)	兵庫県立大学 豊田 正博氏
	【障害特性に対応した農作業支援技法】 ・座学		
11月30日(土) 9:20～16:00	【障害福祉サービス事業所の運営の実務】 ・事業所見学	就労継続支援事業所リハスファーム白山 (白山市宮丸町1133-1)	リハスファーム白山 村中 康洋氏
	・修了試験	石川県庁 (金沢市鞍月1-1)	

注意事項

1. 実地研修では、ほ場において農作業を行いますので、農作業に適した服装をしてください。農業用機械や農機具等を使用するため危険が伴う場合もあります。必ず講師や主催者等の指示に従ってください。また、健康保険証を持参してください。併せて、任意の損害保険への加入をお勧めします。
2. 今回実施する研修は、農林水産省が作成した基準プログラムに準拠しています。最終日の修了試験実施後、「農福連携技術支援者」の認定まで1～2ヶ月程度かかります。なお、「農福連携技術支援者」は国家資格ではありません。

